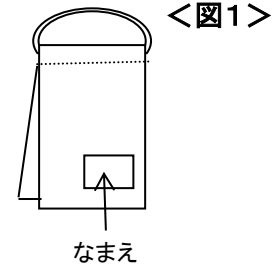


## 入所までに準備していただくもの

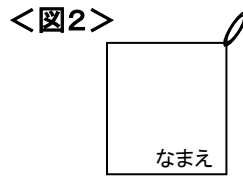
### 1. 給食用エプロン【0~2歳児】 <図1>

○ タオルを半分に折り、かぶれるようにゴムひもを通します。



### 2. 手拭きタオル【全員】 <図2>

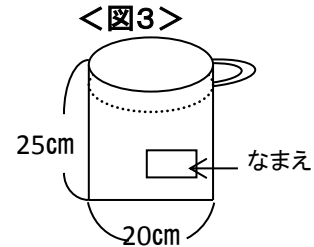
○ ハンドタオルにかけひもをつけます。



### 3. コップ袋【1歳以上】 <図3>

○ 中に、コップ(必要に応じて竹箸・箸箱・スプーン・フォーク) 歯ブラシを入れます。

○ 出し入れしやすいよう、普通の布製が良いです。(キルティングは不向きです。)

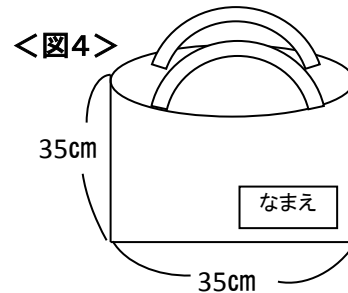


### 4. 着替え【全員】と着替え袋【3, 4, 5歳児】 <図4>

○ 着替えはパンツ・下着シャツ・ズボン・トレーナーなどを年齢や必要に応じて数組準備してください。

着脱しやすく活動的な服を入れましょう。

○ 着替え袋は3, 4, 5歳児が必要です。0, 1, 2歳児は着替えを個人用ロッカーに収納しますので着替え袋はいりません。



### 5. 昼寝用布団【全員】

○ 布団は市販の物を使用されても良いですが、できれば、大人用毛布を使用して作ります。

掛け布団は二つ折りにして縫い合わせたもの、敷き布団は三つ折りにして縫い合わせたものを作ってください。

○ 掛け布団、敷き布団とも揃いの布団カバーを作っておくかぶせます。

○ 中の布団が片寄らないように、しっかり綴じつめます。

○ 布団カバーには名札用に別布(15cm×20cm)を縫いつけて記名します。

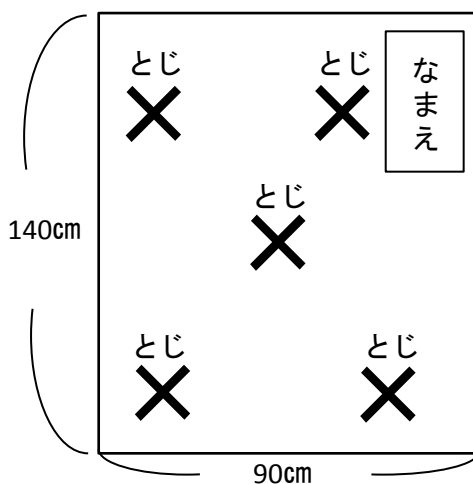
○ おねしょシーツの必要なお子さんは準備してください。

○ 夏期は掛け布団の代わりにタオルケットを使います。

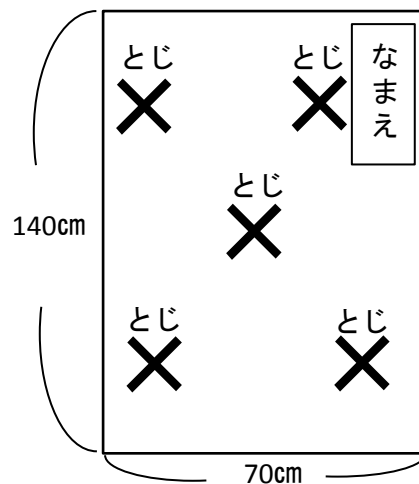
○ 中掛けの毛布・枕はいりません。

○ 毎月、最終金曜日(夏場は第2金曜日)に持ち帰り、カバーの洗濯をしていただきます。

<掛け布団> 90cm×140cm以内



<敷き布団> 70cm×140cm以内



6・ 汚れ物入れ(衣服)【 全員 】

○ 水濡れしないビニールかナイロンのバッグに『衣服用』と記入し、はっきりと記名します。

7・ 汚れ物入れ(使用済みオムツ)【 0～2歳児 】

○ 0～2歳児は使用済みのオムツを入れるビニール袋(フックにかけることができるもの)を用意し、大きく『オムツ用』と記入し、はっきりと記名をして持ってきてください。

8・ 汚れ物入れ(エプロン・ハンドタオル)【 0～2歳児 】

○ 0～2歳児は給食用エプロン・ハンドタオルを入れるビニール袋(フックにかけることができるもの)を用意し、大きく『エプロン用』と記入し、はっきりと記名をして持ってきてください。

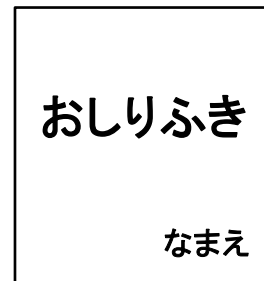
9・ 体ふきタオル(フェイスタオル)【 1～5歳児 】

○ シャワーの後などに使いますので、記名をして着替えと一緒に着替え袋に入れてください。持ち帰りましたら、翌日にお持ちください。

10・ お尻ふき用タオル(フェイスタオル半分の大きさ)【 0, 1歳児 】 <図5>

○ 排便後のシャワーの後などに使いますので、大きく『おしりふき』と記入、記名(消えない工夫をしてください)をしてください。持ち帰りましたら、翌日にお持ちください。

<図5>



11・ 通所用リュックサック【 1～5歳児 】

○ 1～5歳児は通所用リュックサックを使用します。  
○ 0歳児は手さげ袋を通所用に使用します。

12・ 手さげ袋(黄色)【 全員 】

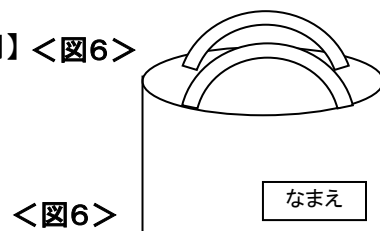
○ 保育所で借りた絵本などを入れたり、着替え服の持ち出し等に使用します。いつでも使えるように通所用かばんの外ポケットにたたんで入れておきます。

13・ カラー帽子【 全員 】

○ かけひもをつけます。  
○ 2～5歳児は毎日かぶって登降所します。こまめに洗濯しましょう。  
○ 0, 1歳児は常時保育所に置いて使用します。月末に持ち帰りますので、洗濯をして持ってきます。

14・ パジャマ・パジャマ袋【 3, 4, 5歳児、2歳児は秋頃から使用】 <図6>

○ できるだけ、前ボタンのパジャマを準備してください。  
○ パジャマ袋は出し入れしやすいよう、布製が良いです。



<図6>

15・ クッキング用エプロン・帽子又は三角巾【 3, 4, 5歳児 】

○ クッキング活動の際に使用しますので、ご用意ください。  
○ マジックテープ・ゴムなどを利用して、お子さんが自分で着脱できるものにしておきましょう。